

2022年 長野地域振興局のおもなできごと

月	内 容
通年	<p>「ながの果物語り」の取組推進 【長野農業農村支援センター、農地整備課】</p> <p>～県外でのPR・販売促進～</p> <p>東京の高級フルーツ専門店「タカノフルーツパーラー」において、赤色ぶどう新品種「クイーンルージュ®」を含め、須坂市産3色ぶどうのPR販売を行いました。</p>  <p>また、銀座 NAGANO と(株)タカノフルーツパーラーのコラボにより開催される『旅するフルーツ in 銀座 NAGANO』において、須坂市産ワッサーのPRを行いました。</p>  <p>～「ながの果物語り」新幹線マルシェを開催～</p> <p>JR 東日本グループと連携し、長野地域の果物（ぶどう・りんご）を東京駅動輪の広場において販売する「ながの果物語り新幹線マルシェ」を実施しました。（9月から10月まで計6日間）</p> <p>また、大阪のカフェ事業者「上高地あずさ珈琲」と連携し、上高地あずさ珈琲ららぽーと甲子園店において、ながの地域産果物（ぶどう・りんご）の販売を行いました。</p>  <p>～ながの地域くだものまるごと産地見学を実施～</p> <p>長野地域で生産された果物等を対象に売り手と買い手を結ぶ産地見学を実施しました。</p> <p>飯綱町のりんご農家にバイヤーをお連れして産地の見学や商談を実施しました。</p> 

2022年 長野地域振興局のおもなできごと

月	内 容
通年	<p>～「クイーンルージュ®」収穫前栽培講習会兼目揃い会指導～</p> <p>本格出荷の始まった「クイーンルージュ®」について、味が良く、適正な大きさと着色を備えた果実を出荷してもらうため、生産者を対象に講習会を実施しました。講習会を通じて、適切な着色管理や出荷基準について理解を深めていただきました。</p>  <p>～樹園地の再生整備～</p> <p>長野市綿内東町地区で行われていた樹園地の再生整備が山新田工区で完了し、4月18日にりんごの苗木の植樹式が行われました。同地区はりんごの産地として知られていましたが、傾斜樹園地の荒廃化と高齢化が進み、約13haのうち、半分近くが耕作放棄地となっていました。2年前から着手した工事が完成したため、今年度から本格的な栽培が始まりました。</p> <p>整備後の樹園地では、傾斜が緩やかになったため、農作業の負担が軽減し、農業機械も安全に走行できるようになりました。隣接する清水工区でも、同様の工事が、令和5年4月に完了する予定です。</p>  <p>～今年の収穫を無事迎えました～</p> <p>令和3年の大凍霜害を乗り越え、果物が美味しい実りの秋を迎えました。</p> <p>本年の果樹生産は大きな気象災害の発生がなく、収穫時期を迎えることができたため、全般的に平年並みの着果量が確保されました。また、定期的な降雨により肥大は良好で中晩生種は着色も良好となりました。</p> 

2022年 長野地域振興局のおもなできごと

月	内 容
通年	<h2>令和元年東日本台風災害の復旧・復興</h2> <p>【農地整備課・企画振興課】</p> <p>令和元年東日本台風で被災した浅川第一排水機場の復旧工事が完了し、長野地域振興局長から長野市長に機場の鍵を引き渡しました。</p> <p>新機場は、被災前と同じ毎秒14トンの排水能力を持ち、浸水防止対策として、高台への移設と機器の統合・高床化を行いました。</p> <p>また、管内の排水機場で、長野地域振興局が作成した、小学5年生社会科副教材「排水機場と排水のしくみ」や復興支援用に作成したクリアファイルを活用し、小学生を対象とした見学会を開催しました。</p> <p>小学生は、教室で事前に学習した上で、河川の増水時に農地や住宅地を洪水から守るための排水機場の役割を学びました。</p> <p>次年度以降も継続して開催します。</p>  
5月	<h2>長野地域森林祭の開催</h2> <p>【林務課】</p> <p>5月28日、令和4年度長野地域森林祭を長野市茶臼山自然植物園において、第72回長野県植樹祭（長野会場）として開催しました。</p> <p>115名の参加者でオオヤマザクラ等の苗木を植栽するなどし、緑化活動や森林整備の大切さを再認識する機会となりました。</p> 



2022年 長野地域振興局のおもなできごと

月	内 容
5月 ～ 7月 ・ 11月 ～ 12月	<p>農業分野での省力化・脱炭素化の取組推進</p> <p style="text-align: right;">【長野農業農村支援センター】</p> <p>水稻の自動運転田植機やドローンによる直播栽培試験等スマート農業技術の活用による省力化の検討を進めました。また、関心の高い果樹園のロボット草刈り機を中心に、各地で実演会を開催することで労力軽減に向けた効果を実感いただきました。</p> <p>脱炭素社会の構築に向けた農業分野の貢献として、「果樹せん定枝」炭化実演会を2回実施しました。実演会を通じて、せん定枝を効率的に木炭にする燃烧方法と、木炭を畑に返し炭素を貯蔵することへの理解が深まりました。</p> 
6月	<p>「野尻湖クリーンラリー」を開催</p> <p style="text-align: center;">【環境・廃棄物対策課】</p> <p>野尻湖の水質保全に関心を持ってもらうため、湖上観察や水生生物の展示物学習などを行う「野尻湖クリーンラリー」を6月24日に開催、信濃町立信濃小中学校5年生に参加いただきました。</p> 
5月 ～ 12月	<p>環境広報を実施</p> <p style="text-align: right;">【環境・廃棄物対策課】</p> <p>～ごみ削減啓発パネルリレー展示を実施～</p> <p>県民の皆様にごみ削減や「信州プラスチックスマート運動」などのごみ減量の取組を知ってもらうため、地域振興局において啓発用パネルを作成し、長野合同庁舎、市町村庁舎及び長野広域連合施設での巡回展示を行いました。</p> <p>～「2050ゼロカーボン」推進の懸垂幕を掲示～</p> <p>「2050ゼロカーボン」推進のため、合同庁舎東面に、「踏み出そう！『ゼロカーボン』への第一歩」のスローガンを掲げる懸垂幕を掲示しました。</p> 

2022年 長野地域振興局のおもなできごと

月	内 容
7月 ・ 10月 ・ 12月	<p>森林（もり）の里親契約 4件成立 【林務課】</p> <p>7月に「生活クラブ生活協同組合（岡谷市）×千曲市財産区、千曲市」、10月に「日亜鋼業株式会社（兵庫県）×高山村」、「株式会社メディカルフロンティア×一般財団法人 C.W.ニコル・アファンの森財団(信濃町)」、12月に「ホクト株式会社(長野市)×長野市」の契約締結が行われ、地域と企業・団体による森林整備活動を通じた交流がスタートしました。</p> <p>※「森林(もり)の里親契約」は、長野県の仲介による森林を持つ地域と社会貢献に意欲ある企業・団体による森林整備等の活動。</p> 
7月 ・ 8月	<p>7, 8月豪雨災害への対応 【農地整備課、林務課】</p> <p>7月及び8月の豪雨により、管内の農地や農業用施設 367 箇所、約 3.5 億円、森林や林道施設 133 箇所、約 10 億円の被害が発生しました。</p> <p>国庫補助・県単の災害復旧事業を導入し、早期復旧を進めています。</p>
8月 ～ 12月	<p>新しい観光需要への対応 【商工観光課】</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大やSNSの普及等による観光需要の変化（分散化、少人数化、屋外志向等）に対応するため、長野地域における新たな特長（地域資源）となりつつある「ワイン」、コロナ下でも市場の伸張が見込める「サイクルツーリズム」の推進を図りました。</p> <p>「ワイン」については、宿泊を伴った収穫手伝いの仕組みづくりをワイナリーやぶどう農家、宿泊施設等と進めるとともに、首都圏のWEBメディア等を招請したメディアツアー（10/5,6 高山村 6媒体8名）を実施しました。</p> <p>「サイクルツーリズム」では、長野地域の自転車関連情報を集積する「まとめサイト」の構築を進めるとともに、首都圏のYouTuber等が管内を走行する動画（2本）を制作しました。</p>  

2022年 長野地域振興局のおもなできごと

月	内 容
11月 ～ 12月	<p>長野合同庁舎フードドライブの実施</p> <p>【総務管理課、環境・廃棄物対策課、長野保健福祉事務所】</p> <p>こどもカフェ・食堂や生活困窮者の支援のため、11月21日～12月16日まで年末フードドライブ統一キャンペーンを行いました。期間中の11月29日にはNPO法人と協働して「長野合同庁舎フードドライブ」を開催しました。地域の企業やJAながのを含め多くの皆さまから、約7tの食品や子ども用品を寄付いただき、県内各地のこどもカフェ・食堂や新型コロナウイルス感染症の影響でお困りのご家庭にお届けしました。</p> 
11月	<p>消防団を応援しています 【総務管理課】</p> <p>～全国消防操法大会への出場～</p> <p>『長野市消防団』が全国消防操法大会に出場し、健闘しました。</p> <p>～「消防団応援スペシャルマッチ」の開催～</p> <p>©2008 PARCEIRO</p> <p>長野消防協会では、例年消防団員活動環境支援事業が行われており、今年度はA C長野パルセイロと共催し、冠マッチとして消防団員募集や、消防団の認知向上のための事業を行いました。具体的には、親子サッカー教室やA E D講習会、携帯フォームによる消防団に関するアンケートや、水消火器ゲーム、また、ハーフタイムには現役消防団員がピッチを一周するなど、来場者に実際に観て、体験してもらったイベントを行いました。</p> 
12月	<p>「信州さらしな田毎の月」プロジェクト実行委員会が「地域発元気づくり大賞」を受賞 【企画振興課】</p> <p>令和3年度の元気づくり支援金事業のうち、長野地域から知事表彰として選定した「信州さらしな田毎の月」プロジェクト実行委員会の「ペットボトル®を通し、総合学習の展開と姨捨棚田のシンボル作り。」事業が、県内10地域から選定された事業の中から特に優れた事業として表彰される「地域発元気づくり大賞」（県全体で2事業）を受賞しました。12月20日には表彰式や事例発表会が行われました。</p> 